

大宮東地区

馬車鉄道

明治時代、市内には馬が客車や貨物車を引いて運ぶ「馬車鉄道(馬車軌道)」があり、大宮(現在の中央町)～鈴川(富士市)を結ぶ富士馬車鉄道と、大宮～上井出※を結ぶ富士軌道の2路線が運行していました。

富士軌道は、製紙工場や製材所へ富士山麓の木材を運搬するために、明治42(1909)年に開通しました。

馬の力だけで貨物車を引き、富士山麓の山道を登るため、傾斜の緩い場所にレールが敷かれ、速さは人が歩く位のスピードであったため、登り道では2時間半～3時間かかりました。大宮～上井出間を、夏は1日6往復、冬は1日4往復し、木材だけでなく、郵便物や新聞、生活用品なども運びました。

富士軌道は、バスの路線が開通したことにより、昭和13(1938)年に廃止されましたが、市内の各所には、富士軌道のレールが敷かれ、馬が通っていた跡が残っています。

※ のちに人穴まで延長しました。



富士軌道路線推定図(市中心部～上井出間)

停車場名は大正5年修正測図
5万分の1地形図参照



富士軌道のレールが敷かれた跡(馬車道)



馬車鉄道(馬車軌道)の様子

歩く博物館 H東コース<大宮東地区> 旧大宮町東地区をめぐるコース

市役所6階文化課、出張所または市公式ウェブサイトなどにあります。



歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

- 料** 500円
- 申** 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で
- 他** 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。
- 問** 文化課 ☎22-1187
- ✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

有料
ガイドブック



問 文化課 ☎22-1187 FAX 22-1209